

【区域】 神奈川県 (全域)愛川町、清川村  
(一部地域)相模原市、厚木市

【設立時期】 平成4年10月1日

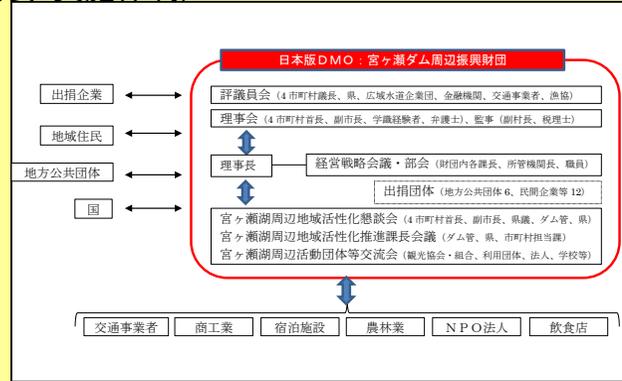
【代表者】 理事長 和田 久

【マーケティング責任者】  
常務理事兼事務局長 宮崎 仁男

【職員数】 122名

【連携する主な事業者】  
各市町村観光協会・組合、小田急、神奈中等

(表:実施体制)



(表:KPI(実績・目標)) 外国人観光客は今後検討

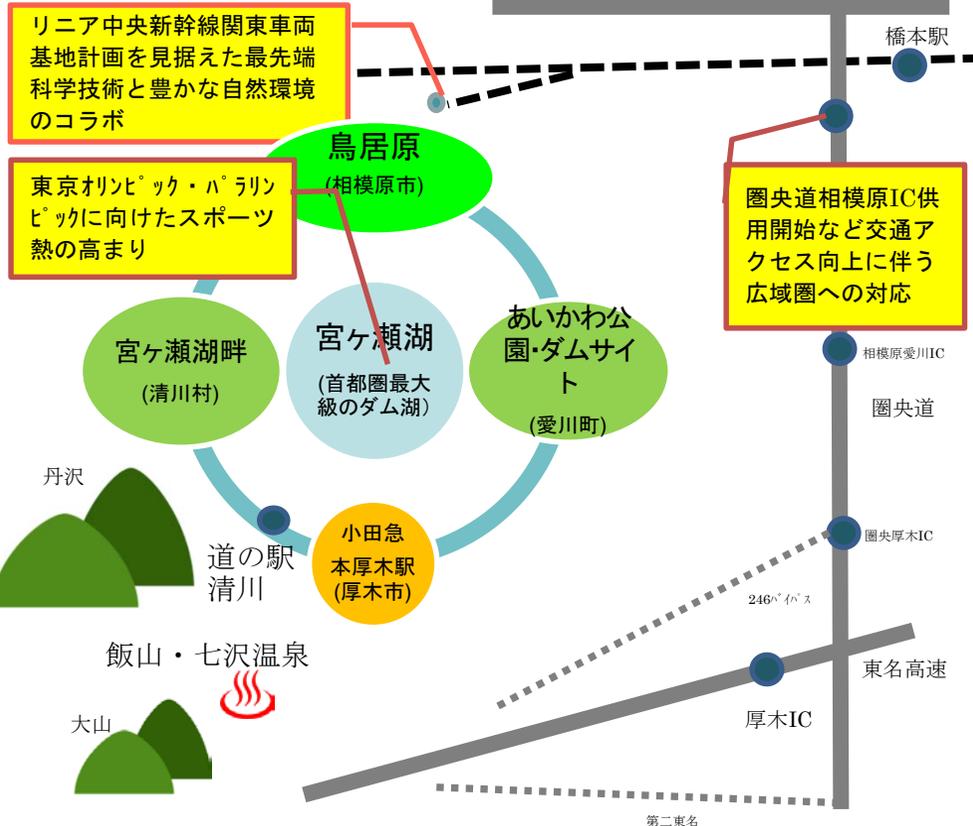
	27年(度)	28年(度)	29年(度)	30年(度)	31年(度)	32年(度)
旅行消費額	1,126,702千円	1,139,000	1,147,000	1,155,000	1,164,000	1,171,000
延べ宿泊者数	85千人	84	84	85	85	85
来訪者満足度	80.3%	86.8	81	82	82	82
リピーター率	86.9%	86.5	87	87	87	87

### A(観光施設)に関する取組

- 総合案内・ワンストップ機能の強化  
広域圏に向けた広報戦略の実施  
みやがせミーヤ館ワンストップ機能充実
- 3拠点の回遊性の向上  
湖上交通である遊覧船の活用  
ロードトレイン、インクラインの乗物運行
- 楽しみながら健康増進ができる環境づくり  
グランドゴルフ、自転車の駅  
レクリエーション・アスレチック施設整備
- 半原地域における観光・産業連携拠点づくり構想

### B(自然)に関する取組

- 水源環境理解促進事業  
自然観察会、自然体験型イベント  
花の日(宮ヶ瀬・あいかわ公園)  
宮ヶ瀬自然ガイドの育成・活用
- 森と湖の中での本格的なスポーツ体験  
宮ヶ瀬湖24時間リレーマラソン  
清川やまびこマラソン、宮ヶ瀬湖マラソン大会、東丹沢トレイルレース
- カヌーの宮ヶ瀬事業の充実  
カヌースクール、レンタルカヌー、Eポート
- 自然公園、都市公園の維持管理



### C(文化)に関する取組

- 自然環境や地場産業と結びつけた体験学習の場  
工芸工房村  
愛川繊維会館レインボープラザ
- 宮ヶ瀬湖周辺の自然や歴史の情報発信  
水の郷交流館(清川村)  
愛川町郷土資料館
- 土木技術の粋を結集した首都圏最大級ダム、県内初のメガソーラ、最先端の科学技術であるリニア計画などの活用

### D(イベント・商業施設)に関する取組

- 地域活性化に向けた魅力あるイベント  
みやがせフェスタ、伝統工芸体験  
宮ヶ瀬クリスマス、あいかわ公園つつじまつり、ふるさとまつり花火大会 等
- 道の駅清川、水の郷商店街、鳥居原ふれあいの館など、観光商業施設との連携
- 宮ヶ瀬オリジナルグッズの充実  
かやねずみ、カジカガエル等をモチーフにした独自商品の充実
- 宮ヶ瀬へのアクセス上にある飯山・七沢温泉施設との連携